

第8期計画における施設整備等についての検討

1 不足施設の検討

2020年から2023年における認定者数(推計値)の増加率より、第8期計画における介護サービス需要量を算定したところ、特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護(グループホーム)のサービス供給の不足が見込まれた。

(1) 認定者数の推移

認定者数は約15%で増加見込み。

	2020年	2023年	増加率
認定者数	3,170人	3,643人	+約15%

(認定者数は過去5年の実績値と人口推計を基に算出)

(2) 施設サービスの不足

15%の増加率で入所予想数を推計したところ、特に特別養護老人ホーム及び認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の入所予想数が入所定員を超過見込み。

	入所定員	入所人数	(市内)	(市外)	入所予想数 (入所人数 ×1.15)	入所定員 －入所予想 数
特別養護老人ホーム	560	448	321	127	515	45
+待機者数※	560	546			628	-68
介護老人保健施設	78	71	50	21	82	-4
介護付有料ホーム	113	100	32	68	115	-3
住宅型有料ホーム	84	39	23	16	45	39
サービス付高齢者向け住宅	66	60	—	—	67	-3
グループホーム	99	99	99	0	114	-15

(人数は令和元年12月末現在「印西市介護保険事業等に関する実態調査」より)

※待機者数は過去3年の県報告平均値 98人

2 サービスの利用意向

「印西市介護保険事業等に関する実態調査」において、不足しているサービスとして、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の意見があった。

印西市に不足していると考える施設系・居住系サービス

	件数	割合 (%)
1. なし	4	25.0
2. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	6.3
3. 介護老人保健施設	3	18.8
4. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	3	18.8
5. 介護付き有料老人ホーム	1	6.3
6. 住宅型有料老人ホーム	0	0.0
7. サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0
8. 介護医療院	2	12.5
9. その他	2	12.5
合計	16	100.0

(「印西市介護保険事業等に関する実態調査」問2-3)

3 整備予定

- (1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 定員29名以下
- (2) 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 定員18名

○入所者及び入居者数を15%増としたときに定員数が特に不足しているのは特別養護老人ホーム、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)である。

【特別養護老人ホームについて】

- 予想不足数68床
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(小規模な特別養護老人ホーム)ならば、入所者が、印西市内に住所を持つ方に限られるので、印西市内の入所待機者数を減少させることに対し、効果があると考ええる。

【グループホームについて】

○予想不足数15人

○市内の認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の入居定員数は、9人若しくは18人であるので、予想不足数を考慮し、18人定員のグループホームを1か所整備すれば良いと考える。